

三中だより

令和元年度 2月 増刊号



令和2年2月19日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No16)

作成者 校長 清水隆彦

「アクティブ・ラーニングの確実な推進に向けて」

校長 清水隆彦

【本校ホームページに掲載した研究発表会のお礼文より】（一部抜粋）

令和2年2月7日（金）に行わせていただきました研究発表会には、都内はもとより、全国各地から多数の皆様にご来校いただきました。厚く御礼申し上げます。また、ご指導いただいた聖心女子大学教授 益川弘如先生、荒川区教育委員、荒川区教育委員会の皆様にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

研究主題「基礎的・汎用的能力を育むアクティブ・ラーニングの在り方」は、平成28年度に設定し、今年で研究4年目の区切りを迎えました。研究の特色は、21世紀型能力の育成を目指し、教科指導でこそキャリア教育の基礎的・汎用的能力育成に重点を置き、授業改善を行うことでした。生徒の主体的な学び、能動的な学びを積極的に進めることは、結果として教科理解へつながるものと考えました。様々な授業改善のための要素や手法を研究することで授業の質を変え、教師主導の受動的な学びから生徒主体の能動的な学びへ進む、正にアクティブ・ラーニングの在り方を目指しました。

新学習指導要領には、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成について多くの内容が含まれています。このことは何かの流行でその言葉が登場してきた訳ではなく、世の中の劇的な変化やグローバル化社会に順応できる能力の育成が求められているのであり、スピード感をもって対処する必要があります。とくに義務教育段階から強く求められていることを自覚しなくてはならないものと感じています。

研究当初、教科指導においてキャリア教育の基礎的・汎用的能力を育成するという授業改善の具体策として、どう進めるべきかを簡単に決められた訳ではありませんでした。全ての教科で実施する研究授業において、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成を焦点化し、様々な要素と組み合わせることで、これまでの授業の質を大きく変えられるものと考えました。

これまでのような知識詰め込み型で一方通行的な学習形態の授業では、授業の質の変容は難しく、現在、求められている21世紀型能力の育成には結びつきにくいと言えます。この4年間、聖心女子大学、益川弘如教授にご指導をいただきながら研究授業を進め、その都度行う協議会を経て指導案を作り直し、次の実践に結びつけるというプロセスを繰り返しました。また、定期的な生徒への意識調査を実施し、結果分析することで成果の検証を行いました。



この4年間で見られた特徴として、どの学年も1年生次の調査では、入学当初よりも1年生後半の方の自己評価が低くなることでした。小学校と同様の意識では、内容的に難しくなり対応も難しくなること、アクティブ・ラーニングの必要性を強く感じ、自己評価基準が上がったと考えられました。一旦下がった意識は、その後3年次に向けて大きく上昇傾向を見せました。

4年目の取り組みとして、卒業生への追跡調査があります。卒業生へのアンケート及び聞き取り調査を実施しました。本校で授業改善の要素として取り込んだ①議論型②学校図書館活用③ICT機器活用は、その後の進学先で大きな力として役立っていることがわかりました。卒業生は、在学中に教科で偏ることなく、全ての教科において3つの要素が常に意識された指導に接し、無意識のうちに高い能力を身につけていたことに気づいたようです。このように義務教育段階での学びが、高等学校、大学へとつながることを重視し、これからも授業改革を進める必要性を再確認しました。



本校の研究は、今回の発表会で一区切りを迎えましたが、まだまだ完成形ではなく、日々の実践でより精度を上げていくことが課題と感じております。

今回の研究発表会に参加してくださいました多くの皆様に改めて厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

※研究発表会当日、PTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様にご支援をいただきました。ありがとうございました。

おもしろ探究授業」1年生の部 実施(2/15)

2月15日(土)12月の2年生に引き続き、第2回目となる1年生を対象とした「おもしろ探究授業」を実施しました。各教科の専門分野のスペシャリストにおいでいただき、専門的な授業を通じて学習に対する関心、意欲を高めてもらうこと、学習を通じて仕事に対する興味、関心を抱くことをねらいとして実施しました。これは、キャリア教育の視点で行う重要な行事の1つです。

講座1 理科「深海の世界」

1. テーマ:「(しんかい6500)の秘密と深海の世界」

2. 授業者: 国立研究開発法人海洋研究 開発機構(JAMSTEC) 広報部広報課 柴田 桂 先生



講座2 理科「気象の不思議」

1. テーマ:「気象災害から身を守るには」

2. 授業者: 東京管区気象台 気象防災部防災調査課 八木 重雄 先生



講座3 保健体育科「パラリンピックアスリート」

1. テーマ:「ボッチャを体験してみよう」

2. 授業者: CAC Holdings パラリンピックアスリート 佐藤 駿 先生



講座4 社会科「株式会社のしくみと証券市場」

1. テーマ:「株式会社のしくみと社会や経済の動きと株価」
2. 授業者:株式会社 東京証券取引所 金融リテラシーサポート部

金融経済教育担当 町田貴子先生



講座5 理科「生物化学～美白の効果を解明しよう～」

1. テーマ:「美白を科学しよう!! ～実験で美白の効果が明らかに～」
2. 授業者:横浜薬科大学学生化学研究室 教授 森 和也先生 補助学生 荒若 彩花様、藤田 華緒様



講座6 音楽科「三味線」

1. テーマ:「三味線音楽に親しもう」
2. 授業者:NPO 三味線 音楽普及の会 吉住小留実先生、吉住 小代園 先生



第11回 中学生「東京駅伝」大会 荒川区男女とも新記録 (2/2)

2月2日(日)に第11回中学生「東京駅伝」大会が味の素スタジアム及び都立武蔵野の森公園で行われました。本校からは2年生男子3名、女子5名の8名という区内で最も多い選手が選ばれ、当日すばらしい走りを見せました。各校から選ばれた選手候補者同士での練習会や予選会に積極的に参加し、記録会では好成績を収め、8名全員が大会出場の間をいただきました。全員無事に走り終えることができ本当に良かったと思います。

今年の荒川区チームは、全員明るく仲がよく、練習への参加率も高かったと聞いています。その結果、男女ともに過去最高の順位、そして最高記録を約2分縮める歴史に残る結果となりました。特に全出場選手の4分の1を占める三中生が好結果を連続して出すなど本当に嬉しい一日となりました。がんばった選手に感謝します。



- 【代表選手】(男子) 大高 道三、山崎 海誠、高橋 夏太郎
(女子) 安藤 真央、新井 優里、石黒 菜々美、國弘 一葉、八下田 和佳 以上8名